

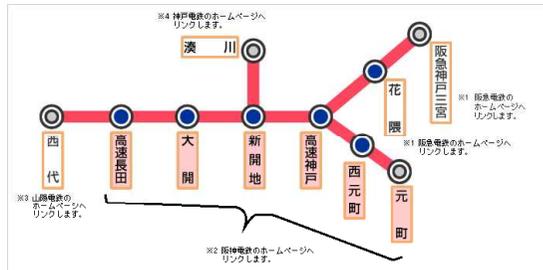
直特で GO!

(阪神・山陽直通特急について)

ふちんかん

直特とは、阪神電鉄の梅田駅から、神戸高速鉄道を經由して、山陽電鉄の姫路駅までを結ぶ列車である。1968年に神戸高速鉄道が、阪急・阪神・山陽・神戸電鉄をむすぶ形で営業開始されたことで直通が可能となり、阪神・山陽間で車両規格の統一がはかれたことで1998年から運行が開始された。

WOO では2001年のノン JR の旅ではるか西へ向かう第一歩の手段として用いられている。また2009年の明石海峡大橋主塔見学の取材でも利用している。私事だと5年前、教員採用試験を受けるために朝の時間帯に姫路へ行くことがあり、勇んで乗ったことがある。この時間帯だと新快速がないため、遅いといわれる直特（約100分）でも、料金的なメリットから十分勝負できるのである。もちろん「スルッとKANSAI 3 Day チケット」を使った。



さて、そんな直特と普通の特急との停車駅と本数の違いについて確認しておこう。まず阪神側(阪神電鉄 HP より：画像結合)

11	5	6	8	15	16	18	25	26	28	35	36	38	45	46	48	55	56	58	
																			姫
13																			

阪神側は、1時間あたり、6本の特急があり、そのうち4本が姫路行き直特、残り2本が山陽電鉄の須磨浦公園駅までの特急、という形で運行されている。直特は須磨浦公園駅には停車しないので注意が必要だ。



